

③ 避難行動時の準備

風水害発生時の一時避難場所は、長期滞在の避難を想定していません。いざ、避難をするときに、何を持っていくか判断するのはとても難しいことです。食料や飲料水、常備薬など必要なものを準備して、慌てずに行動できるようにしておきましょう。

▶ 非常時の持ち出しリスト

救急・安全

- ☐ 包帯、ばんそうこう
- ☐ 常備薬
- ☐ 眼鏡、コンタクトレンズ



水・食料

- ☐ 飲料水
- ☐ 食料、お菓子など(2〜3食)
※調理不要のもの
- ☐ 紙皿、紙コップ
- ☐ 粉ミルク・離乳食



貴重品

- ☐ 預金通帳
- ☐ 免許証、保険証
- ☐ 印鑑など



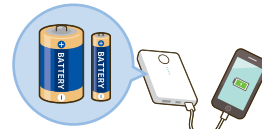
日用品

- ☐ 懐中電灯
- ☐ タオル
- ☐ マスク
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 紙おむつ・生理用品
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ティッシュ
- ☐ ビニール袋



その他

- ☐ 着替え
- ☐ 簡易的な寝具(簡易まくら、タオル、耳栓、アイマスク)
- ☐ モバイルバッテリー 例：携帯電話充電器(乾電池で充電できるもの)
- ☐ 避難場所でのリラックスできるもの



例：本、ゲーム(音の出るものはイヤホンも準備)、おもちゃ(周りの迷惑にならないもの)など

▶ 家に備えておきたい備蓄品

- ☐ 食料や水
(最低3日分、できれば1週間分)×家族分
例：缶詰、米、栄養補給食品など
- ☐ 生活用品
例：ティッシュ、ポリタンク、携帯用トイレ、カセットコンロなど



あくまで一例です。それぞれの家族構成などによって持ち出し品・備蓄品は変わってきます。避難した先で困らないために何が必要か、今一度見直してみましょう。

④ 災害時に気を付けること

どんな状況でも適切な行動がとれるように、想定される状況でどのような行動をとるか見直しておきましょう。

自宅

- ・飛来物でガラスが割れることがあるため、雨戸やカーテンを閉めて、窓には近づかない。
- ・植木鉢や物干し竿など、風で飛ばされそうなものを移動・固定する。

外出中

- ・大雨 地下には急に水が流れ込む可能性があるため近づかない。
- ・土砂崩れ 危険な崖からは離れる。
- ・強風、雷 近くの安全な建物に避難する。

避難行動時

- ・段差につまづいたり、ふたが外れたマンホールに落ちたりしないように、長い棒などで足元を確認する。
- ・長靴は中に水が入ると重くなり危険なため、運動靴を履く。

6月から
出水期

自然災害 備えることで身を守る

6月〜10月にかけて、梅雨や台風、突発的な集中豪雨などで河川の氾濫による洪水や、土砂崩れなどの災害が起きやすくなります。

災害が発生した際に身を守る行動がとれるように、事前に準備しておくことが大切です。

① 危険の把握

町内には、中小規模の河川があり、宅地の中には崖も点在しています。危険がどこにあるか、ハザードマップで事前に確認しておきましょう。

▶ 宇美町防災ハザードマップ

大雨による土砂災害や想定外の大雨が降った場合の河川からの浸水害などの、想定被害範囲などを示した地図(広報うみ令和4年2月号に同封)



▶ わが家の防災ハンドブック

災害から自分自身と大切な家族の命を守るために必要なことをまとめた本



② 災害時の情報収集

災害時は最新の情報をもとに、正しい行動をとることが重要です。特に、集中豪雨などの場合は、気象庁などからの正しい最新の情報を常に得られるように準備しておく必要があります。事前に情報の入手経路を確保しておきましょう。

各種情報収集ツール

▶ 宇美町防災メール(要登録・無料)

防災行政無線の放送内容や災害避難情報などをメールでお知らせします。
✉ entry-umi@bousai-mail.jp へ空メールを送信、または右の二次元コードから登録できます。
※町の防災放送が聞こえない(聞こえづらい)地域の人は、登録をおすすめします。



▶ テレビ・ラジオ・インターネット

テレビやラジオなどで最新の気象情報や避難情報をチェックしましょう。テレビの場合チャンネルによっては、リモコンの「dボタン」を押すことで、より詳しい情報を確認することができます。

▶ 町ホームページ

災害時には、災害状況の変化に応じて随時更新されます。



▶ 宇美町危機管理課公式 SNS

有事の際に、気象庁や県が発表する最新の情報を投稿します。
右の二次元コードから友だち登録できます。



▶ 宇美町防災気象情報

雨量や河川水位・ライブカメラ・災害速報・気象情報・町に発令されている警報などを確認できます。



災害通知のメール配信サービスや気象情報アプリは登録しておき、いざという時に情報が届くようにしておきましょう。